

# 令和5年度 事業計画書

公益財団法人 神奈川県予防医学協会

# 令和5年度事業計画書

## 基本方針

協会は、3つの理念を掲げ、総合健康支援機関として社会的使命を果たすべく事業活動を行っています。

協会の理念を実現するためには、将来にわたり安定的な事業運営をしていかなければなりません。それには、経営環境が変化する中であって絶えず新しい顧客を確保し続けていくことが必要です。顧客から選ばれる健診機関であるためには、精度管理の充実による各種健（検）診・検査の質の向上、社会の変化に応じて求められる新たなサービスの提供、総合健康支援機関としてのブランド力の強化が不可欠であると考えます。

協会の中期計画である第8次グリーン・プラン（計画期間：令和3年度～5年度）およびIT戦略をもとに、新しい顧客の獲得、新しいサービスの創造などについて取組みを進めております。今年度は中期計画の最終年度となり、IT戦略と併せて実行と評価を進めます。

取り組むべき主要な課題は次のとおりです。

### I. 事業収入の回復、拡大

- ・新規団体の獲得、既存顧客の定着
- ・新規事業、新規サービスの構築
- ・事業の見直し、徹底した効率化による収益率の向上
- ・労働衛生関係団体や大学などとの連携強化、SNSでの発信などによるブランド力の強化

### II. 組織力の強化

- ・理念・目標の共有の徹底、円滑なコミュニケーション
- ・人材の確保と育成、人事評価方法の見直し
- ・事業遂行に伴うリスクの評価と管理

### III. 新たな課題等への対応

- ・SDGs、脱炭素の取組みの推進
- ・令和6年度からの第4期特定健診・保健指導への対応
- ・新拠点に関する基本構想の策定

# I 健診・検査及び予防医療事業

事業収入の回復・拡大を目指し、各分野において予防医学活動を展開していきます。事業戦略を立て、企画提案を基本とした渉外活動を推進します。

## 1 地域保健分野

がん検診は、国の第4期がん対策推進基本計画（実行期間は令和5年（2023）度から）、神奈川県のがん対策推進計画（実行期間は令和5年（2023）度まで）に基づき、国、県、市町村のがん対策に協力します。令和6年度から開始される第4期特定健康診査・特定保健指導に的確に対応できるよう準備を進めます。

## 2 産業保健分野

渉外方針、渉外戦略を設定し巡回健診、施設健診の拡大を目指します。

労働衛生にとまなう団体や大学などと連携強化を図り、総合健康支援機関としての協会の認知度、ブランド力を高め、事業の拡大と運営の安定化を目指します。

## 3 学校保健分野

学校保健安全法に基づく児童生徒の各種検診・検査の精度向上と効率化を推進します。令和6年度からの腎臓病検査の検査方法の変更（一次検査における尿中蛋白／クレアチニン比の追加実施）に向け、準備を進めます。

## 4 母子保健分野

行政及び神奈川県医師会の指導のもとに先天性代謝異常等検査の内容充実、検査方法の改良、検査技術の向上、データ管理の充実、陽性者の追跡調査などに協力します。令和4年度より開始した拡大新生児マススクリーニング検査（重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症）の円滑な実施を目指します。

## 5 環境保健分野

作業環境測定では、労働安全衛生法の改正に伴う呼吸用保護具のフィットテスト等の渉外を推進し、事業収入の拡大を図ります。簡易専用水道検査では、ISO9001の品質管理に基づき、地域の安心・安全な飲料水の確保に努めます。

## II 事業計画

効率的な事業実施体制を確立させ、国の施策や顧客のニーズを的確に捉え、新規事業の構築や新規のネットワークの確保など新たな発想をもった事業を展開し、事業の安定化を目指します。

### 1 健診等事業拡大に向けての対応

アクティブ・エイジング事業としてスタートした高齢労働者に対する健康支援の充実を図ります。また、LINKAI 横浜金沢地区をモデルとして中小企業に対する総合健康支援サービスの提供を推進し、協会事業の拡大を目指します。

### 2 中央診療所機能の有効活用

新たな健康サポートアプリを導入し、健康診断結果の閲覧や健康情報の提供により、新規受診者の獲得、継続受診の増加を目指します。また特定保健指導支援システムも新たに導入し、メールによる支援など受診者の利便性を図り、サービスの向上と拡大に努めます。

### 3 効率的な実施体制の確立

健康診断会場のオンライン化とペーパーレス化によるスムーズな情報連携を目指します。データの分析・評価による顧客提案型サービスの創造、クラウドとRPAによる実施体制の効率化により、事業拡大と採算性向上に取り組めます。

### 4 がん対策の推進、普及啓発活動

令和5年度から、第4期 がん対策推進基本計画が始まります。全体目標の「がん患者を含めた国民すべてが、がんを知り、関わり、一人ひとりの Well-being を実現する。」を目指し、普及啓発とがん検診の受診率向上に寄与します。

### 5 広報活動の充実

公益法人として、県民の健康増進に寄与するために広報活動を展開します。「健康かながわ」をはじめ、メールマガジンや SNS に、ホームページをリンクすることでアクセス数を増やし、協会事業の認知を拡げます。

### Ⅲ 運営管理計画

社会的信頼を維持し、求められる健康支援の提供のために、協会の使命に添った事業の推進を目指します。

#### 1 人材の確保・育成

人材の確保・育成はさらに継続すべき最重要課題の一つと捉え、意欲を持って業務に取り組む人材を評価できる仕組みを作ります。評価者に対しても、公正・公平な指導・評価ができる教育、研修を継続的に実施します。

#### 2 効率的な業務遂行

作業手順を遵守し、常に点検・見直しを繰り返し、より効率的な業務遂行に全職員で取り組みます。省力化・効率化につながる業務遂行を意識し、求められるサービスを、迅速に対応、提供できる組織・運営体制を構築します。

#### 3 機器及び施設の整備

効率化につながる機器の整備・更新、それらの費用対効果を常に検討したうえで導入することを、職員全体で推進します。顧客に選ばれるサービスの提供に資する新たな機器の配備・導入を計画します。

#### 4 品質保証と信頼性の向上

ミス発生防止対策として運用している内部監査システムおよびヒヤリハット報告活動を通じて、ミスの発生を未然に防ぐという意識を全職員に浸透させる取組みを継続します。

### Ⅳ 健診等実施計画

質が高く、信頼性の高い受診者サービスの向上につながる健診スタイルの構築を推進し、選ばれる総合健康支援機関を目指します。

#### 1 受診サービスの向上

受診者の要望に応えるため「あなたの相談室」を活用し受診者の気持ちに添った対応を行います。女性医師の配置、プライバシーの配慮とともに、高齢者や女性への健康支援を目的に新たなコースの導入を検討します。快適受診環境

を提供し、安心・安全な医療の提供と受診者満足度向上に努めます。

## 2 信頼性の高い健診実施体制の確立

安全で正確な健診のためのリスクマネジメントの実践に加え、①Web 問診やオンラインでのデータ通信などの新たなサービスの提供、②RPA や業務支援アプリ等の多角的な IT ツールの活用による業務効率化を目指します。

## 3 質の高い結果報告の提供

RPAを活用し安定的な報告処理態勢の構築を図り結果納期短縮や正確な報告書を提供いたします。QRコードを活用し情報提供の充実、Webによる結果閲覧・ペーパーレス化を検討し顧客ニーズに適した報告書を作成いたします。

## 4 新たな健診スタイルの提供

ICTを用いた健診の実現に向け、Webによる健康診断の予約、問診入力、結果閲覧など双方向な顧客との関係を目指します。さらに、リモートを意識した各種センサーによる非接触な生活習慣病予防サービスの開発にも取り組めます。

# V 調査・研究の推進

日常業務の課題を取り上げ、大学や研究機関などの指導と協力を得て予防医学に関する調査・研究を行い、その成果は、関係学会や研究会などで発表を推進します。なお、予防医学事業中央会における、令和5年度全国予防医学技術研究会の主催になる上で、今年度から発表内容についての検討を進めます。

\*（共同）は大学、研究機関などとの共同研究

## 1 呼吸器関係

- ① CT 検診における肺がんの早期発見の研究

## 2 循環器関係

- ①メタボリックシンドロームや高血圧をウェアラブルセンサー等を活用した効果的指導方法の確立（共同）
- ② ウェアラブル血圧計に関する研究（共同）

## 3 がん予防関係

- ① がんのリスク分類とアミノ酸に関する研究（共同）

- ② P S A値と前立腺癌早期発見に関する研究（共同）
- ③ ピロリ菌感染の現状と変遷
- ④ 希少がんの検討（県立がんセンターと共同）

#### 4 健康支援関係

- ① 保健指導の評価
- ② 保健師人材育成のプロセス評価
- ③ 電話相談の実態調査
- ④ 採血合併症に関する研究
- ⑤ ME－BYO改善プログラムの効果の検討
- ⑥ 生活習慣病と健康経営
- ⑦ 転倒骨折リスク予防システムに関する研究

#### 5 検査関係

- ① 作業環境測定結果を取り込んだ特殊健康診断個人票
- ② アーク溶接作業場の実態調査を継続
- ③ 尿中マンガンをモニタリング指標とする溶接作業者の暴露評価
- ④ 先天性代謝異常等検査法改良に関する研究
- ⑤ 学童一次尿検査におけるP/C比の検討研究

別表

令和5年度 年間健診検査等実施目標数

(単位：件)

	健診検査等項目	5年度実施目標数	4年度実施見込数	増減	増減
地域・産業 保健	1 胃検診X線撮影	55,300	55,300	0	100.0%
	2 胃検診内視鏡検査	5,000	5,500	-500	90.9%
	3 大腸がん検診	88,200	88,500	-300	99.7%
	4 子宮がん検診	27,600	28,100	-500	98.2%
	5 乳がんマンモグラフィ検診	21,000	21,000	0	100.0%
	6 乳がんエコー検診	6,800	6,800	0	100.0%
	7 肺がん検診	33,300	33,100	200	100.6%
	8 神奈川からがんをなくす会	90	90	0	100.0%
	9 一般健康診断	258,700	258,700	0	100.0%
	10 特殊健康診断	88,200	86,100	2,100	102.4%
	11 精密総合健診	8,300	8,400	-100	98.8%
	12 歯科健康診査	3,500	3,500	0	100.0%
	13 その他の検診検査	31,300	31,300	0	100.0%
健康づくり 事業	14 保健相談	700	700	0	100.0%
	15 健康教育	380	380	0	100.0%
作業環境調査	16 作業環境調査	2,300	2,300	0	100.0%
学校保健	17 心臓病検診	102,300	103,500	-1,200	98.8%
	18 腎臓病・糖尿病検診	671,100	675,700	-4,600	99.3%
	19 貧血検査	500	500	0	100.0%
	20 その他の検査等	0	0	0	
母子保健	21 先天性代謝異常等検査	52,300	54,700	-2,400	95.6%
	22 拡大スクリーニング検査	25,000	23,500	1,500	106.4%
環境衛生	23 簡易専用水道検査	1,600	1,600	0	100.0%
その他	24 依頼検査	4,000	4,100	-100	97.6%